

授業改善書

科目名	図書館サービス論
担当者	村上郷子

授業の概要

図書館サービスに関する考え方や事例を学び、図書館サービスの基礎的な知識を包括的に理解する。授業はテキストを使った講義が中心であるが、必要に応じてビデオ視聴、グループディスカッションなども取り入れる。授業の初めに、前回の授業の簡単な確認テストを行うことにより、知識の定着をはかる。

授業の問題点

- ・「授業への学習態度」について、大半の学生はノートを取っていた（4.88）ようだが、授業外学習（予習や復習など）をしましたかの項目は4.18と低かった。
- ・授業について相対的に学生の評価が低かった項目は、「90分の授業を適切・有効に使っていましたか(分量やスピードなど)」(4.5)、「授業内容に興味や関心を持ちましたか」(4.5)及び「テキストなどの資料は適切でしたか」(4.5)であった。

学生の授業満足度

「授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか」の項目では7.75、「全体的に振り返って、授業に満足できましたか」の項目では、4.63であった。

授業改善の課題と方策

- ・本授業では、ランダムに学生を指名して発言を求める場合が多い（最低1～2回は指名する）。「何か質問ありますか」と学生に聞いただけで自発的質問が返ってくることは難しいので、授業内容に興味を持ってもらうために振り返りの時間をとり、学生により深く考えてもらう工夫をしていきたい。
- ・授業内容の分量やスピード等は、学生の理解度を確認しながら、適切かつ有効に授業時間を使っていきたい。また、授業の内容等も、学生が主体的能動的に学びを深めていけるように、身近な事例を取り上げたディスカッションや課題解決の方略を探るアクティビティ等をさらに取り入れていきたい。

その他

授業では、グループディスカッションやディベートなども取り入れたが、班分けの際、学生から、「班の割り振りの仕方がいつも同じだった。」という指摘があった。今回人数が少なかったが、毎回異なるメンバーとのグループが作れるよう、工夫をしたい。